



草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
<2021.11.12>
11月号 学校ホームページ版

<予告> 12月16日(木)は 1、2年生「本derful!講演会」です 講師：神山清子さん(陶芸家)

*図書館の入口付近に神山さんがモデルとなった小説『緋色のマドンナ』(那須田淳:著 ポプラ社)、ノンフィクション『母さん、子守歌うたって』(那須田稔・岸川悦子:著 ひくまの出版)を置いています。

神山清子さんの関連本を読んで印象に残ったこと、感想

●朝ドラ「スカーレット」を見ていたので、ドラマの内容と本の内容を比べられておもしろかったです。私も信楽に住んでいるので陶器はよく見かけるのですが、あの陶器が試行錯誤して出た色のものだと思うと、今までと見る目が変わった気がします。

●何度断られても工房へと向かう姿や、信楽初の女性窯元となった事など、様々な点で勇気づけられました。私も人生を賭して情熱を注げるものを見つけたいです。

●「女には無理や」と言われても諦めず、女性陶芸家としての夢を追い続ける清子さんの姿に胸を打たれました。貧しく壮絶な人生や苦労を経験してもなお陶芸家を諦めないのは、陶芸への愛と夢を叶えようという揺るぎない意思であるのかなと思いました。

●とても壮絶な人生を送っていたことに驚いた。成功している人は、何度失敗しても諦めずに続けているということを知りました。でも継続することはとても難しいし、大変なことだけど、成功するためには必要になってくるものなんだなと思いました。

～ 1、2年生 本derful!委員『緋色のマドンナ』読後の感想より～

1、2年生各クラスに設置していた**学級文庫**は、引き続き図書館内で特設展示中!「ほかのクラスではどんな本が選ばれていたのかな?」「借りたくなった本がある!」そんな方もぜひ見に来て欲しいかめ～。



『**残像に口紅を**』
筒井康隆:著 B913.7
中央公論社(中公文庫)

<内容>

「あ」の文字が消えてしまうと「あ」が含まれる全ての言葉も消えてしまう。少しずつ言葉の消えてゆく世界を「現実そのものが虚構だ」と考える作家・佐治の視点から描いた実験的小説。

<おすすめポイント>

TikTokの紹介動画をきっかけに、夏頃から急速に売り上げを伸ばしている本作。言葉がどんどん消えてゆく中で、虚構のむなしさを感じると共に、作者の圧倒的な語彙力にも驚かされる。

『**夜が明けたらいちばんに君に会いに行く**』
汐見夏衛:著 913.67
スターツ出版(スターツ出版文庫)

<あらすじ>

主人公の茜は小学校の時、周りに無視されたことがきっかけで、人と自分を傷つけない為に優等生を演じていたが、マスクをつけることで本音を隠すようになる。そんな茜を救ったのはクラスで唯一嫌いな青磁。その青磁には秘密があつて…。

<おすすめポイント>

私が初めこの本を見たときタイトルに惹かれてこの本を読みました。読み進めていく中でこの意味が分かってくいきました。ぜひタイトルの意味に注目して読んでほしいです。青磁によって解き放たれていく茜の本音、青磁の秘密にも注目です。

ホンダフル

本derful!委員のおすすめ本 ～2年6組、2年7組担当～



『**夜行**』 913.67
森見登美彦:著 小学館(小学館文庫)

<あらすじ>

物語の十年前、京都の英会話スクールに主人公達6人は通っていました。そのメンバーで鞍馬の火祭りに遊びに行きます。そこで1人の仲間が失踪してしまいそれ以来残りの5人は関わりが少なくなっていました。しかし十年ぶりに再会することになった5人はもう一度鞍馬の火祭りに行くため集まります。この5年間で5人はそれぞれ不思議な1枚の「夜行」という絵と関わりあつて生きてきていました。

<おすすめポイント>

本に出てくる「夜行」という銅版画に惹き込まれてしまいとても不思議な感覚でした。読んでいくうちに世界に引き寄せられ終盤になっていくにつれてバラバラだった謎が少しずつ明かされていくところが面白かったです。読み終わった後も謎のままの内容も多くとても考えがいのある不気味な良さがある物語でした。単純な話ではなく少しややこしいけど深い本が読みたい人などには特にオススメです。

『**medium**
霊媒探偵城塚翡翠』
相沢沙呼:著 913.67
講談社(講談社文庫)

<あらすじ>

主人公の香月史郎はある日、カフェで死者の魂が見えるという女性、城塚翡翠と出会う。元々するどい推理力を持っていた主人公と二人で連続殺人犯を捕まえるため、捜査を続けていく…。

<おすすめポイント>

死者の言葉を聞いて犯人を探し出すというのが今までにない推理小説でとてもおもしろかったです。ミステリー5冠をとっている作品なので間違いのない作品です。続編も出ているのでぜひそちらもおすすめします。

「私と本とのかかわり」

この本読みトークの依頼がきて、私自身、これまでどんな風に本とかかわってきたかを考えました。小学生の頃、私はとにかく読書が嫌いでした。私の通っていた小学校では、毎朝、読書の時間があったのですが、読書せずにぼーっと過ごして、先生に注意されたこともたくさんありました。普段から本を読んでいなかったせいか、その当時、本を読むスピードが格段に遅く、朝読書の時間だけでは全然読み進めることができないことにイライラしてしまい、読書がどんどん嫌いになっていきました。高校のときもほとんど本を読まなかった私でしたが、本を読まないといけないなという心は持っていたので、大学生の頃に興味のある本をたくさん読みました。

大学の教養の授業の中で、心理学の授業がありました。その内容は大変興味深く、人の心理について知ることっておもしろいなと思ったことがきっかけで心理学にかかわる本を読んでいました。私自身、精神的に強い方ではなく、悩み事もたくさんあったので、そういった本に興味をもったのかもしれない。そんな心理学の1冊を皆さんに紹介しようと思います。『嫌われる勇気 自己啓発の源流「アドラー」の教え』（岸見一郎・古賀史健著・ダイヤモンド社）という本です。この本は、心理学の三大巨匠と呼ばれるうちの心理学者の1人、アドラーが唱えたアドラー心理学を用いて「どうすれば人は幸せに生きることができるのか」という哲学的な問いについて考えていく本です。ただの抽象論で終わるのではなく、シンプルで具体的な答えが提示されているところがこの本の面白くかつ理解しやすいところです。私自身、この本を読むことで、自分のこれまでの生き方を振り返ったり、これからの生き方について考えたり、自分と真剣に向き合うことができました。イメージしにくい壮大なテーマですが、アドラー心理学に詳しい先生と自分に自信が持てない青年との対話の中で、話が展開されているので、哲学的な本の中ではかなり読みやすいものだと思います。

アドラー心理学について少しだけ説明すると、本の中で、赤面症に悩む女の子が例として登場します。その女の子は赤面症が治ったら好きな人に告白したいが、なかなか治らないという悩みを抱えています。ふつうは、赤面症になった原因はなんだろうと考えることが多いかもしれませんが、しかし、これをアドラー心理学的に考えると、本当はその彼に告白して振られてしまうことが一番怖く、それを避けるための自分への言い訳として赤面症を抱えているというものです。人の行動には、その行動を起こすための何かしらの目的が潜んでいるというものです。だからこそ、ある悩みを抱えてしまっている、過去の原因に固執せず、未来を見て、勇気を出せば人は変われるというメッセージでもあります。

私自身、本を読むのが遅いから、読書が嫌いになったと思っていましたが、このアドラー心理学を読んだ後は、本を読むのが遅いことを言い訳にして、読書をしたくないだけだったと感じています。そう考えると、過去にとらわれることなく、読書と向き合おうという気持ちになりました。考え方一つで物事の見え方は大きく変わるなあと深く実感しました。

最近、思い悩んでいるなあ、しんどいなあと感じている人にとっては自分の生き方を考えさせられる、そして、1人1人の挑戦をそっと後押ししてくれる、そんなおすすめの1冊です！機会があれば、ぜひ読んでみてください。

♪新しく買った本より♪

ジャンル/内容	書名	著者	請求記号
本・図書館事例	100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集	福井県立図書館 編著	015.2-7
部誌	Half 2021.11月号 草津東高等学校文芸部誌	草津東高等学校文芸部	050-7
進路・職業	地方初級・国家一般職<高卒者>公務員試験総合問題集 2023年度版	L&L総合研究所 編著	317.4-5
	警察のウラガワ	倉科孝靖 監修	317.7-7
	警察官<高卒程度>採用試験総合問題集 2023年度版	L&L総合研究所 編著	317.7-5
	消防官<高卒程度>採用試験総合問題集 2023年度版	L&L総合研究所 編著	317.7-5
	弁護士になるには	飯島一孝	366.2-1
	病院のウラガワ	佐藤昭裕 監修	498.1-1
学習参考書	地理B統計・データの読み方が面白いほどわかる本	伊藤彰芳	G-290-1
	時事から学ぶ小論文 2021第1号 基礎編 小論文の書き方を学ぼう	朝日新聞社	G-816.5-3
	時事から学ぶ小論文 2021第2号 情報編 オンラインが変えるコミュニケーション	朝日新聞社	G-816.5-3
	時事から学ぶ小論文 2021第3号 医療編 変貌する医療の最前線	朝日新聞社	G-816.5-3
	時事から学ぶ小論文 2021第4号 教育編 学びの未来を創る	朝日新聞社	G-816.5-3
	時事から学ぶ小論文 2021第5号 文化編 グローバル社会と文化	朝日新聞社	G-816.5-3
	時事から学ぶ小論文 2021第6号 社会科学編 私たちのくらしと法・政治・経済	朝日新聞社	G-816.5-3
時事問題	現代用語の基礎知識 2022	自由国民社 編集	031-3
	子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。世界から児童労働をなくす方法	白木朋子	366.3-3
	ファストファッションはなぜ安い？	伊藤和子	589.2-1
	SDGs時代の食べ方 世界が飢えるのはなぜ？	井出留美	611.3-1
料理・菓子	ぼる塾田辺のスイーツ天国 あんた、食べてみな！	田辺智加	596.6-7
	はじめてのおそとパン 作って食べて最高に盛り上がる キャンプでお庭で	吉永麻衣子	596.6-3
切り絵	いつでも君のそばにいる 葉っぱ切り絵コレクション	リト@葉っぱ切り絵	726.9-1
スポーツ	図解ボトムアップ理論 自ら考えて行動できる、自主自立した組織づくり ★	畑喜美夫	783.4-11
小説	むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。	青柳碧人	913.6-7
	雨上がり、君が映す空はきっと美しい	汐見夏衛	913.6-3
	大正浪漫 YOASOBI『大正浪漫』原作小説	NATSUMI	913.6-1
	都会(まち)のトム&ソーヤ 18 未来からの挑戦	はやみねかおる	913.6-11-18
	イッカボッグ	J.K.ローリング	933.7-0
	心霊探偵八雲 11 魂の代償	神永学	B-913.6-11
コミック	Dr.STONE 23	稲垣理一郎 原作 Boichi 作画	M-726.1-1-23

★印の本は資料相談やリクエストから入りました。予約、リクエスト、資料相談はいつでもお気軽に司書まで。

進路指導室の大学入試過去問題集（赤本）の内、2021年度版が図書館に移動しました→1人3冊まで、1週間貸出可能（延長無し）